

外国語対応ガイド等観光産業人材

対象学生 : 大分工業高等専門学校 3年生 160名
 指導教職員 : 大分工業高等専門学校 一般文系准教授 Tomek Ziemba(トメック・ジェンバ)
 地域共創テクノセンター
 センター長/機械工学科教授 尾形 公一郎
 コーディネーター/ 越智 清

1. 地域課題

- ①インバウンド客の増加に対応するための観光産業人材が不足している。
- ②インバウンド客のニーズが高い多言語ガイドの不足により、県内の魅力ある自然、食、文化等の説明手段が少なく、本来の魅力発信にも影響している。

2. 目的と取り組み内容

- 観光産業人材の育成**
 3年生(160人)を対象に、大分県の主要市町村に出向き、若者視点でその土地の魅力を自ら発見し、写真・動画等を用いた観光案内を作成することで観光産業人材の確保・育成に繋げる。
 あわせて、インバウンドにも対応できる観光産業人材の確保・育成を図る。
- 大分高専の専門性を生かした観光産業のDX化**
 作成した観光案内(写真、動画等)の幅広い情報発信を図る。将来的には本事業の成果を元に、より利便性、拡張性の高いものを検討していく。
- 英語のプレゼン能力の向上**

3. 撮影場所

撮影場所は、大型バス4台で、ある程度まとまっていける方面、場所から、下記とした。



クラス	撮影場所
1	大分駅西側 大分駅東側 別府駅周辺 鉄輪温泉
2	湯布院
3	宇佐神宮 昭和の町
4	日田豆田町

4. 肖像権の勉強

撮影に先立って事前に、「肖像権とは?」について、勉強会を2回実施。また、ツーリズムおおいたの三浦様による講演会を大分高専で開催。

	許可が必要	申請先	許可は不要
人物	個人が明確に特定できる	—	撮影の背景として、偶然小さく映り込んだ。
	店等の店員さん、お客さん	本人	モザイクが入って人物が特定できない
	宮司さん、巫女さんの姿	本人	体の一部で本人の特定ができない
お店	飲食店(食堂、nado)	お店	
	商業施設 商品	お店	会社名、商品名、ロゴが見えない

5. 撮影の様子



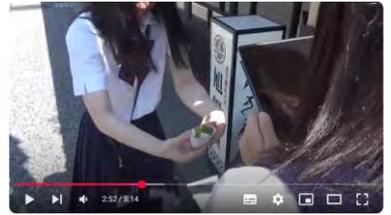
撮影前の注意事項説明



地元の人からの情報収集



お店の方から商品の説明受け



お饅頭の撮影

6. 動画発表会

日時: 令和6年12月18日(水)
 場所: 大分高専
 参加者: 3年生160名

全32グループから事前に選ばれた8グループの動画上演

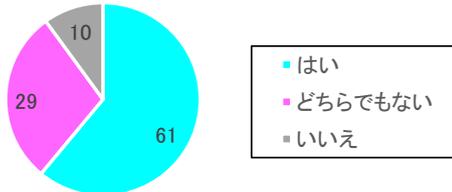
審査員 大分高専: 校長、主事、引率の先生、同窓会長
 (11名) 大分県: 観光政策課様、学事・私学振興、ツーリズムおおいた様
 スペイン: デウスト大学 Dr. Alejandro Lopez Garcia

動画の採点
項目と配点

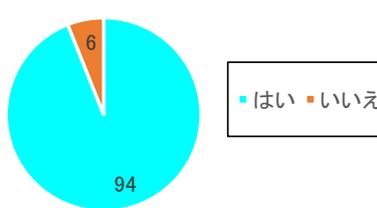
評価項目	グループ名	得点
ビジュアルメッセージ (撮影とデザイン)		5点満点
身体的メッセージ (動作と表現)		5点満点
スピーチメッセージ (英語によるスピーチ)		5点満点
アピール力 (インバウンド訪問者向け)		5点満点
総合点		20点満点

7. アンケート結果

Q:この活動を通して、大分が好きになったか?



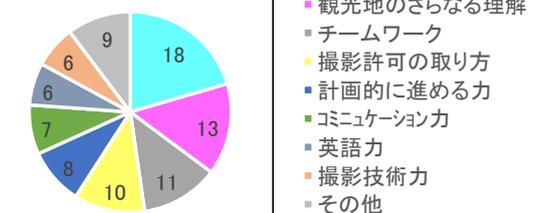
Q:肖像権の理解が深まったか?



Q:授業の一環として取り組むことにどう思うか?



Q:プレゼン以外に身についたことがあったか?



8. 終わりに

- ◆今回、3年生160名という大人数での活動であったこと、観光地へ出向く際の安全上の配慮など、教員としても初めてのことが多く、試行錯誤をしながらの活動であった。
- ◆アンケートの結果からも、当初の目的は概ね達成できたと考えている。
- ◆最後に、大分県の関係者、ツーリズムおおいた、学生、高専内関係者の皆様に感謝申し上げます。